

RENAULT MEGANE R.S.

#04 | 2015年式 | 走行距離=2512km



担当=緑整備センター

GT-Rを始めフェアレディZなど日産系チューナーとして名を馳せる緑整備センター。メガヌR.S.の実力を認め、チューニングを開始。



筑波 スーパーバトルは 大盛況!

今回のタイムアタックは、雑誌レブスピードが開催している筑波スーパーバトルにエントリーして計ってきました。日本中のチューニングメーカー&ショップが集まっているだけあって大盛況!

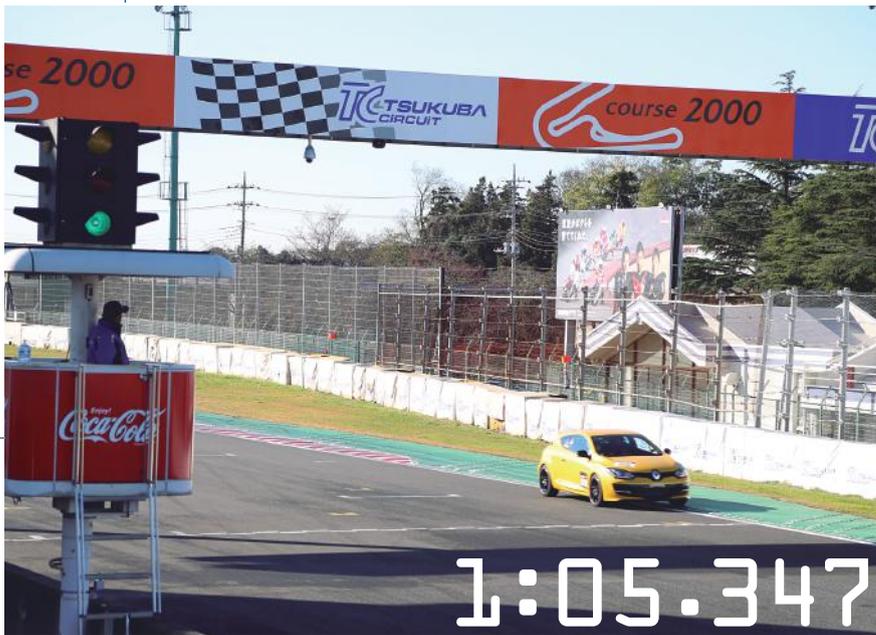


Tipo PADDOCK PASS

とりあえず今の状態を知るべく

タイム・アタックしてきました!

文&撮影: 三宅 康朗 取材協力: 緑整備センター TEL: 045-933-1101 URL: <http://midoriseibi.co.jp/>



記録は1分5秒347。初めて乗るクルマでも、2周目でキッチリとタイムを出してるところはさすがプロ。でもちょっとタイムが良すぎるんですけど。困ったなあ。



お隣はラリーで有名なキャロッセさんのNDロードスター。もうチューニングされているんですね。流石に早いなあ。



路面温度は日なたが12.4度、日陰が7.2度。ちょっと低いので、それに合わせてタイヤの空気圧を調整する。やるのが細かいですね。



ブルー青木選手はこの日がルノー初体験。そこで、RSモードの説明と、エンジンセッティングの方法をレクチャー。コレが一番難しかった?



クルマから降りて開口一番「ストリート仕様としてもう完成してますね!」とのこと。実際タイムも出ているし、動きも非常にスムーズ。つまりノーマルの完成度が高いってことです。

現状を把握しておくのは必要なこと。そこでタイムアタックを敢行してきました。
緑号に現在装着しているものは、緑整備オリジナルのチタンマフラー。サスペンションは、セッティング用に用意した3ウェイ式MIDORIアラゴスタ・サスペンションキット。これに8.5J×18インチのレイズの軽量ホイールを組み合わせ、タイヤはBSのRE71Rを履かせた。
アタッカーは「ブルー青木」こと青木孝行選手。GT300やスーパー耐久でシリーズチャンピオンになったこともある、レーシングドライバー。路面温度は日陰で7度。結構冷えます。路面状況がよく、気温も低い

午前中がタイムを出すには最適らしく、2周めに早速アタック。メガヌは動きが非常にスムーズ。「ほんとにアタックしているのかな?」と思っただけでタイムを見たら、1分5秒347。速い! ちなみにトクファイアのタイムは1分6秒655。まずい、連載が終わってしまっ。
そこでクルマを降りた青木選手にインプレを伺った。「もうストリート仕様としては出来上がっている感じだね。パワーをあげたらプッシングアングラーが出そうだよ。前後のバランスが非常に良いから、コーナーもスムーズ。もう完成でしょ!」って、これからって時にもうそれですか? 社長、どうでしょう?

今回のために

ホイールはレイズのG25。8.5J×18の軽量タイプ。なんでも一本あたり約3.3kgの軽量化を見込めるそうで、4本で合計13.2kgの軽量化。しかもバネ下。こりゃ効くでしょうね。

オレンジ色のスプリングが眩しい。アラゴスタの3ウェイ・サスペンションキット。なんでもセッティング用に装着したもので、実際に販売するタイプとは異なるそう。



こちらはサスペンションの別タンク。エンジンルーム内に装着してあります。なんでも連結パイプが、高圧にも耐えられる非常に高価なものだそうです。